

【表紙】

【提出書類】	内部統制報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の5第1項
【提出先】	北海道財務局長
【提出日】	平成24年2月23日
【会社名】	RHインシグノ株式会社
【英訳名】	RH Insigno Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 阿部 顕仁
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	北海道札幌市中央区北一条西四丁目2番2号 札幌ノースプラザ11階
【縦覧に供する場所】	証券会員制法人札幌証券取引所 (札幌市中央区南一条西五丁目14番地の1)

1【内部統制報告書の訂正報告書の提出理由】

平成22年6月28日に提出いたしました第51期（自平成21年4月1日 至平成22年3月31日）の内部統制報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため内部統制報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第51期の内部統制報告書の記載事項の一部を訂正するために、平成24年2月14日に提出した内部統制報告書の訂正報告書 3 訂正箇所 において、内部統制報告書の訂正箇所を示す見出し「3 訂正結果に関する事項」を「3 評価結果に関する事項」に改め、当該訂正報告書による訂正後の内部統制報告書 3 評価結果に関する事項 のうち次の箇所を訂正します。

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

（訂正前）

省略

本件に対する当社の対応として、平成21年3月期第2四半期以降の決算を訂正し、平成21年3月期第2四半期から平成24年3月期第2四半期までの有価証券報告書及び四半期報告書について訂正報告書を提出しました。

以上のような財務報告に係る内部統制の不備は、財務報告に重要な影響を及ぼし、重要な欠陥に該当すると判断しました。従って、当事業年度末日時点における当社の財務報告に係る内部統制は有効ではないと判断しました。

当社といたしましては、財務報告に係る内部統制の重要性を認識しており、重要な欠陥を是正するために、是正措置、再発防止策を講じ、適切な内部統制を整備・運用してまいります。

財務報告に係る内部統制の重要な欠陥を是正するための措置を以下のように考えております。

1. 執行と監督の明確な分離、取締役会の権限・機能強化
2. 監査役による監査の実施強化
3. 監査役と会計監査人及び内部統制監査室との連携
4. 法令遵守意識の向上
5. 職務権限の見直し

（訂正後）

省略

本件に対する当社の対応として、平成22年3月期第2四半期以降の決算を訂正し、平成22年3月期第2四半期から平成24年3月期第2四半期までの有価証券報告書及び四半期報告書について訂正報告書を提出しました。

以上のような財務報告に係る内部統制の不備は、財務報告に重要な影響を及ぼし、重要な欠陥に該当すると判断しました。従って、当事業年度末日時点における当社の財務報告に係る内部統制は有効ではないと判断しました。

当社といたしましては、財務報告に係る内部統制の重要性を認識しており、重要な欠陥を是正するために、是正措置、再発防止策を講じ、適切な内部統制を整備・運用してまいります。

財務報告に係る内部統制の重要な欠陥を是正するための措置を以下のように考えております。

1. 執行と監督の明確な分離、取締役会の権限・機能強化
2. 監査役による監査の実施強化
3. 監査役と会計監査人及び内部統制監査室との連携
4. 法令遵守意識の向上
5. 職務権限の見直し

以上